

民主化闘争情報

No. 915
2014年11月20日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

11月14日、JR総連事務所がある目黒さつき会館で不審火が発生した模様である。JR総連が「安倍首相による悪辣な『JR総連＝殺人集団』キャンペーンを糾弾する声明」を発した日であることから、「不審火はメッセージ性が極めて強い行為」とし、各級機関での警戒体制強化を訴えている。

目黒さつき会館で不審火！？ JR総連「各級機関での警戒体制強化」呼びかけ！？

JR総連・東労組の組織部情報によれば、11月14日の20時過ぎ、目黒さつき会館の会館立て替え告知の看板が燃やされた模様である。車が頻繁に通る場所であるが人通りが少なく、放火の可能性が高いとしている。同日にはJR総連は「安倍首相による悪辣な『JR総連＝殺人集団』キャンペーンを糾弾する声明」を発しており、「何者かによるメッセージ性が極めて強い」と、各級機関での警戒体制強化を呼びかけている。

これはかつて、JR総連の関係者が内ゲバ(革マル派と敵対する中核派や革労協が犯行声明を発表)で多くの犠牲者を出した際、革マル派とJR総連・JR東労組は「権力の謀略」「絶対に捕まることのない何者かによる犯行」としたが、まさにそれを彷彿とさせる表現を用いて危機感をあらわにしている！？

JR総連「安倍首相の言動に対し、満腔の怒りをこめて弾劾する」

JR総連を巡っては、衆議院予算委員会で安倍晋三首相が「革マル派活動家がJR総連・JR東労組に影響力を行使しうる立場に相当浸透している」と厳しく指摘し、これに対してJR総連は、「悪辣なキャンペーンであり、田城郁参議院議員の活動を妨害する行為に他ならない」として、11月14日に次の声明を出している。(下線はJR連合による)

安倍首相による悪辣な「JR総連＝殺人集団」キャンペーンを弾劾する声明

(前略) このかん、JR総連は、「えん罪・JR浦和電車区事件」や「業務上横領事件」など数々のでっち上げ事件を口実に国策弾圧を受け、それに呼応して政府、警視庁公安部、マスメディアなどから「JR総連＝革マルキャンペーン」が熾烈に繰り返されてきたのである。(中略)

今回の衆議院予算委員会における安倍首相の国会答弁とフェイスブックでの発信は、正当な労働組合活動に対する否定であり「言論の暴力」以外の何物でもない。さらに「殺人集団」と断定した発言は、JR総連に対し「名誉を毀損」する行為である。

JR総連は、安倍首相ならびに秘書の言動に対し、満腔の怒りをこめて弾劾するものである。そして悪辣・熾烈な攻撃・弾圧に怯むことなく、田城議員と共に、全組合員が総団結し、平和・人権・民主主義を守りぬくために奮闘するものである。

2014年11月14日

全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)

浦和電車区事件は、平成24年2月に最高裁判所は上告を棄却し、加害者である7名全員を有罪とする判決が確定している。さらに浦和電車区事件で懲戒解雇処分が発令を受けた元社員ら6名の地位確認等請求の民事裁判でも上告が棄却されている。JR総連及びJR東労組内への革マル派浸透問題についても「影響力を行使しうる立場に革マル派活動家が相当浸透していると認識している」とする答弁書が歴代の内閣で閣議決定されている。決して弾圧でもえん罪でもない。

さらに首相の発言に対し、JR総連の「名誉を毀損」する行為としているが、果たして訴訟を起こすのであろうか！？今後のJR総連の対応から目が離せない。

民主化闘争の完遂にむけてJR連合に結集しよう！